



広報

おぐに



平成17年度白い森おぐにフォトコンテスト入賞作品
「樽口峠の春」 嶋津正一さん（神奈川県）

2007
NO.627

1月



平成18年度小国町文化講演会が、11月26日、俳優の八名信夫さんを迎えて、おぐに開発総合センターで開催されました。

八名さんは、怪我のためプロ野球選手から俳優に転身、悪役俳優として映画やドラマで活躍される一方、現在ではまちおこしやボランティア、子ども達へのメッセージをテーマに講演活動も行っています。講演の中で八名さんは、自らの体験をとおして「他人の子どもでも知らないふりをせず、叱ることによって守ってあげてください。」と語り、約120人の参加者に感動を与えていました。



11/26

他人の子を叱るのも
大人の思いやり

平成18年度文化講演会

白い森発

ぐると
情報局

12/2

愛情と熱意を持った指導を！

西置賜地区スポーツ振興懇談会

第39回西置賜地区スポーツ振興懇談会が、本町のスポーツ講演会及びスポーツ少年団指導者研修会を兼ねて、12月2日、おぐに開発総合センターで開催されました。

この懇談会は、町体育協会などが主催したもので、体育関係者を中心に約120人が参加し、高校バスケットボールの王者、秋田県立能代工業高校バスケ部元監督、加藤廣志氏の講演を聴講しました。

加藤氏は、まだ無名だったバスケ部の監督に就任して以来、持ち前の努力と行動力、そして愛情をもって選手と接し指導してきた体験を語り、聴講者の中には感動の涙を流すかたもいました。

拝啓 小国郷様
寒さ厳しい候、如何お過ごしでしょうか。先日、中学生来の友人より電話を頂戴致しまして、貴方様の事に改めて思いを馳せて居ります。
覚えていらっしゃいますか。冬には沢山の雪が積もり、道路も未だ充分整備されておらず町内を車が走ることは稀で、鉄道も時々運休となり自衛隊のヘリが物資を輸送し、陸の孤島と呼ばれる事もありました。また、私が小学生のときの新潟大地震。校庭に避難し



シリーズ
私のふるさと
川崎 悟さん
(名古屋市在住 町原出身)



12/19

飲酒運転をなくそう ハンドルキーパーワッペン贈呈式

飲酒運転根絶の輪を広げようと、小国地区交通安全協会（小山和夫会長）が、ハンドルキーパーワッペンを作成し、12月19日、役場庁議室において贈呈式が行われました。

グループで飲酒をする場合、ワッペンを付けたかたには飲酒をさせず、必ず1名は運転手役を確保するというものです。

今回作成された300個のワッペンは、安全運転管理者協議会のほか、飲食業組合、交通安全母の会などに配布され、町民の交通安全意識を一層向上させる運動に活用されます。



12/21

生きる勇気を与える音楽 自衛隊第6音楽隊演奏会

陸上自衛隊第6音楽隊による演奏会が、12月21日、玉川小学校体育館で開催されました。

子ども達に生きる勇気を与える音楽をこの学び舎で聞き、大切な思い出にしてほしいと玉川小学校PTA研修部（佐藤靖彦部長）が主催したものです。この日は、音楽隊の隊員33名が来校し、演奏にあわせて子ども達が校歌を歌う場面から始まりました。

会場には保護者のほか町内から約150名が訪れ、迫力のある生の演奏に聞き入っていました。



酒田市が火事になっていると聞いたこと。中学生のときの羽越水害。横川が氾濫し校舎に避難した人々の事や、大橋に屋根が三角形のまま乗っていたことを。月日の経つのは早いものであれから四十年余り。貴方様も世間の風と共に変化なされているご様子。テレビで貴方様や周辺の事が放映されますとつい懐かしく見えてしまいます。また、夕張市の事や高畠町の女子学生の自殺の事などを見る時、貴方様の町や学校はどうなのだろうかと心配をしてしまいます。私の様に、貴方様の下を離れて暮らしておりますものは、つい、美しい風景や子どもの頃の懐かしいことを思い出してしまいますが、昨今の様子を風の便りに伺いますに、色々のご苦労もお在りのご様子。地域の活性化や町おこしなどの報道を見る度に「小国らしさ」とはなんだろうかと考えてしまいます。どうぞ「小国らしさ」を保ちながら益々ご発展くださいますようお願い申し上げます。

敬具

特集 小中高一貫教育

～実践の成果を検証～

文部科学省の指定を受けて取り組んできた小中高一貫教育の実践研究は、今年度その最終年度を迎えました。そこで今回は、2つの目標を掲げながら取り組んできた、これまでの研究の成果と今後の課題について、児童・生徒、関係者の声を含めて紹介します。

研究の目標

- ①郷土の歴史、文化に学び、自然環境との共生を図りながら、町づくりに貢献できる「心豊かで創造性に富む人材」を育成する。
- ②国際理解教育、情報教育を通して、社会の変化に柔軟に対応できる児童生徒を育てる

小中高一貫教育実践研究 開発学校の指定

本町の研究は、平成十年十月に山形県教育委員会より、小国中学校と小国高等学校が「小中高一貫教育実践研究協力校」の指定を受けたことから始まります。その後、平成十三年には小学校を含めた全十五校が、文部科学省より「小中高一貫教育実践研究開発学校」として三年間の指定を受けました。さらに平成十六年度からは三年間の継続指定を受け、小中高が連携した一貫教育について研究を進めてきました。

研究の成果

町内全ての小中学校と小国高等学校がお互いにかかわり合い、結びつきを深めながら進めるこの研究は、学校の数が多く学校同士が遠距離にあること、小中高それぞれ取り組みに違いがあることなど、数多くの課題を抱えながらス

タートしました。

そこで、各校が共通して取り組めるものとして、小中学校に特設教科「国際・情報」を、高校には「英会話」「パソコン」の学校設定科目を開設し、国際理解教育や情報教育を推進してきました。

さらには、白い森学習や進路学習など、地域と一体となつた教育活動を推進しながら「地域においてしっかりと自分たちの立つべき足場を持ち、国際社会で主体的に生きていく人間」の育成に取り組んできました。

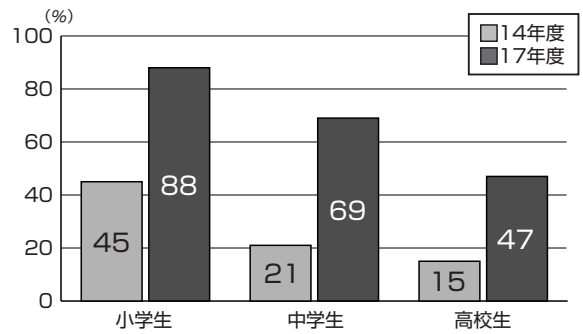
(1) 交流授業

児童生徒の学習に対する意欲を高め、基礎・基本の確実な定着を図ることを目的として、交流授業を行っています。地理的な面から容易に集まらないなどの課題はありましたが、小規模校の児童にとつて、集団での学習活動や他校とのかかわり合いを経験することによって、自分の考えを深めることができるという効果が表れています。



小国高生と小国小生のパソコンを使った交流授業

交流授業で勉強への興味関心が高まった



昨年七月十四日、小国小学校四年二組の児童が、小国高校の生徒にコンピュータの授業を教わった時の日記の一部を紹介します。



小国小4年 和田佳奈さん（中央）
後藤 賢くん（左） 坂上理賀さん（右）

後藤 賢くん

学校で考えた標語を紙に書いて高校にもっていきました。やりかたがわからなかったので、近くにいた高校生に「どうやればいいのですか。」と聞きました。高校生の教え方がわかりやすかったです。

和田佳奈さん

わたしは、ずっと目をそらさないように、しんけんに話をきいていました。ローマ字があまりとくいではないので

「わからないので、教えてください。」と声をかけました。そうしたら、おねえさんたちは「どこがわからないの？ だいじょうぶ。」などと言ってくれました。そうやさしく言ってもらったのでうれしかったです。

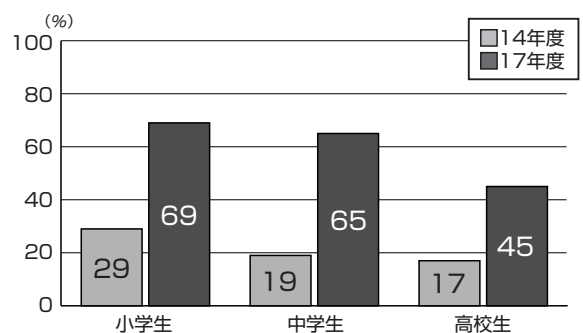
坂上理賀さん

わたしは、わからないことだらけで「すみません、スペーをあげるの、どうすればいいんですか。」ときくと、「これはこうするんだよ。」とやさしく教えてもらえてうれしかったです。わたしもあの姉さんたちみたいな高校生になりたいです。

(2) 特設教科「国際・情報」

全国で初めて、特設教科「国際・情報」を教育課程に位置づけ、小中高の英語教育や情報教育の系統的な指導を継続してきました。また、それらを実践する場を設けたことにより、英語を積極的に話したりコンピュータを意欲的に活用したりする児童生徒が着実に増えてきています。

英語を進んで話すようになった



これまでの学習の成果を生かし、今年度、英語弁論大会スピーチの部に出場した、叶水中学校二年の武真祈子さんにお話をお伺いしました。



叶水中2年 武真祈子さん

小学生のときから英語を使った授業があったので、知らず知らずのうちに英語が身



英語での生活を体験するイングリッシュアドベンチャー

についてきたような気がします。普段の生活の中で、無意識のうちに英単語がでてくることもあります。また、外国人の先生と一緒に授業をすることもあり、本物の英語を聞くことができます。現在来ていただいているウィル先生は、部活動のバドミントンにも参加してくれて、ウィル先生が来てくれる日は、みんなとても賑やかです。

将来外国に行ったときに英語で会話をしたいので、そのためにも英会話の勉強を頑張りたいです。



浅井理智子先生（左）

大場 隆先生（右）

「国際・情報」の教科では、異なる文化を持つ人々と共に生きる態度や、積極的に自己を表現しようとするコミュニケーション能力を身につけるため、外国人指導助手（ALT）を活用した英会話力の向上に取り組んでいます。さらには、教員の指導力の強化を図るため、小学校全教員を対象に英会話研修を実施しています。

小国小学校で「国際・情報」教育を中心になって指導している大場隆先生と、二年担任の浅井理智子先生に児童の様子をお伺いしました。

大場 特設教科として設定されていることで、町内の小学校で授業時間数や指導内容にばらつきの無い指導ができていると思います。また、町独自の副読本が、授業の組み立ての参考になっています。

小国小学校は他校に比べて児童数が多いため、授業に加え、休み時間を利用してALTの先生と遊ぶ時間を設けています。希望者だけにしているのですが、低学年ではほぼ全員が参加しているようです。

浅井 ALTの先生から直接指導してもらうことで、外国人に対する抵抗感もなくなっているようです。気後れせずに、自分から話しかけていく姿が見受けられます。

英会話の授業では、学んだ英語を使って友達と触れ合うことで、人とのかわりかたやコミュニケーション能力の向上につながっています。また、英語や外国のことを学べば学ぶほど、日本語や自分の住んでいる地域のことを学ばなければならぬのだと感じています。



ゲームを取り入れながら英語を学ぶ

こうした、小学校からの継続的な取り組みにより、学習意欲の高まりがみられ、小学生が児童英検を受験するようになったほか、ワープロ検定や英語検定に挑戦する中高生が大幅に増えるなど、資格取得に挑戦する意欲も表れてきています。

平成十七年度には、小国高校で初めてワープロ検定一級合格者が出ましたが、今年度は一年生で一級合格者が出るなど、その成果が着実に結果として表れています。

今年度ワープロ検定一級に合格した鈴木大介さんにお話をお伺いしました。



小国高1年 鈴木大介さん

筆記試験では、パソコンに関する基礎問題はもろろのこと、難しい漢字の読み方や、四字熟語の意味といった国語の基礎知識を必要とする問題も出題され、必死に勉強しました。文章作成試験は、招待状や予算案などの書類を白紙の状態から作成しなければならぬなど、中学校時代には経験していないことがあり大変苦労しました。それでも、小学校からパソコンの基本操作を学んできたおかげで、それを応用する力がつき、今回の一級合格につながりました。僕は、この小国高校で過ごす三年間のうちに、一つでも多くの資格を取って、今後の自

分の人生に役立てていきたいと思っています。

(3) 白い森学習

自分たちの住む地域や小国町について学習する「白い森学習」は、まとめる力や表現力の向上につながっているほか、パソコン操作の上達に役立っています。また、調べ学習をおして地域のかたがたに話を聞く機会が多くなっています。

北部中学校三年の佐藤沙織さんに、白い森学習で学んだことをお伺いしました。



北部中3年 佐藤沙織さん

「観光」ということをテーマに三年間をとおしてさまざまな調べ学習をし、新しい発見がたくさんありました。例えば、それまで小国町にはほとんどイベントがないと感じて



白い森学習の成果を発表

いましたが、私の知らなかったイベントがたくさんあることがわかりました。

調べたことをまとめて発表するためには、パソコンのプレゼンテーションソフトを使う必要があります。操作方法も身につけることができました。

私は、小国町をもっと活気のある町にしたいと考えているので、将来も小国町に住み、小国町にあるイベントを活用して、若い観光客がたくさん来てくれるような仕掛けをしていきたいと考えています。

(4) 生徒活動

主体的に町づくりに貢献しようとする児童・生徒の育成を図ることを目的に、小中高の各学校が連携して児童会・生徒会活動を実施しています。なかでも、町内一斉清掃や地区対抗の体育行事などへの参加、地域に協力を得ながらのボランティア活動、あいさつ運動などの取り組みにより、地域のかたとの交流が深まり、自らすすんで地域に貢献しようとする児童・生徒が育ってきています。



地域行事に参加する子どもたち

小中高合同のリーダー研修会において、地域行事への参加などを呼びかけている、小国中学校生徒会長の佐藤隼さんにお話をお伺いしました。



小国中3年 佐藤 隼さん

呼びかけの方法や実際の様子などをリーダー研修会で話し合ったおかげで、地域行事に参加してくれる人が多くなりました。特にたくさん児童・生徒が参加したサマースポーツ大会は、年代に関係なく一緒になっ

て行う種目があり、それまで話したことがなかった大人や、高校生、小学生と過ごすことで、知らなかった一面を知ることもありました。地域行事に参加したり、参加を呼びかけた



農家の仕事を体験する中学生

りすることで、地域の人達と気軽にあいさつができるようにもなりました。

(5) 進路学習

小学校では「生き方学習」として、自分や他人のよさに気づき、自分の役割を自覚させることによって自主的な活動につなげていくための学習に取り組んでいます。さらに中学校、高校では働くことの大切さを学び、将来への準備のため、職場体験やインターシップを実施しています。

小中高一貫教育進路学習協力会の委員として、受け入れ事業所の拡大などに取り組んでいる小国町商工会の宮崎宏夫事務局長にお話をお伺いしました。



宮崎宏夫さん

この職場体験では、自分の進路を考えることは勿論、家庭や学校以外でのかわりを持つことができ、社会人としてのマナーを学ぶこともできます。昔は、地域の中で大人と子どもが一緒になって共同作業をしながら、指導し、育てる場面が多くありましたが、今では少なくなっています。受け入れる事業所としても、子どもたちと積極的にかわりながら、将来を担う人材を育成していく役割が求められています。

地域で子どもを育てる、守



さいわい荘では入所者とふれあいながら職場体験

るということは我々大人の義務です。全面的に協力し、進路を考えるきっかけづくり、さらには郷土を愛する心を育てていきたいと思っています。

連携型入学者選抜

小中高一貫教育の大きな特徴の一つとして、連携型入学者選抜があります。この連携型入学者選抜では、小中学校で学習してきた「白い森学習」の成果をまとめたレポートや「国際・情報学習」についてまとめた作文などを提出するほか、面接を行います。

平成十六年度入学者選抜か



小関和好さん

これまで進めてきた小中高一貫教育は、地域、保護者の理解と協力によって成り立っています。保護者からみた小中高一貫教育について、小国高校PTA会長の小関和好さんにお話をお伺いしました。

保護者からみた一貫教育

らは、英語による面接を導入したことで、生徒たちの英語に関するコミュニケーション能力や関心・意欲が一層高まっています。

入学内定後も「内定者対象課題」に取り組み、その後「内定者対象基礎学力テスト」を実施するなど、一般の学力試験を行わないことで、生徒の学力が低下しないように取り組んでいます。

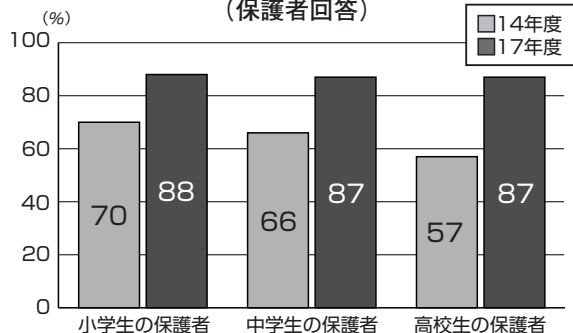
一貫教育は、小学校から高校まで、段階を踏んで教育ができることが大きな特徴です。例えば小学校からはじまる国際の授業は、小国高校に進学することによって、一年生では福島県にあるブリティッシュヒルズでの研修、二年生ではアメリカへの修学旅行、そして三年生では短期留学と、それまで学習してきた成果を実際の場で実践することができま

す。

また、進路学習や白い森学習などでは、地域のかたに直接話を聞き、自分たちで行動

白い森学習は子どものためになる

(保護者回答)



することによって、積極性や自主性が身に付いています。こうした「力」は必ず社会に出て必要になってくるものですし、子どもたちが将来の目標を定めることに役立っていると思います。

目標があれば意欲もわき、さまざまな進路の選択ができます。一貫教育の最終段階である小国高校生の進路の道が広がってきていることは、それらの成果を表しているものだと思います。

今後の課題と方向性

文部科学省から支援を受けて取り組んできた研究開発は今年度で終了することから、教員数の確保や費用などの面においても負担は大きくなります。しかし、今後も山形県教育委員会からの中高一貫教育の継続指定とともに、実践可能な方法を検討しながら、町独自の研究開発とその実践に取り組んでいく必要があります。

そのために、国際・情報



新しい時代にふさわしい教育のありかたの構築をめざす

教育、交流授業、白い森学習・地域文化学、生徒活動、進路学習など、これまで実践してきた六年間の成果を活かして、「心豊かで創造性に富む人材」「社会の変化に柔軟に対応できる児童・生徒」の育成を進めることとしています。

また、学校や地域社会、そして行政が一体となって教育環境の整備に努めながら、新しい時代にふさわしい教育のありかたの構築をめざしていきます。

12月定例会を開会

十二月十一日から十五日までの日程で十二月定例会が行われ、審議された議案は全て原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

一般会計に

一億千六百六十万円

今回の補正は、民生費において、医療費の増加や保育所の途中入所児童の増加等に伴い、福祉医療給付費及び保育関係経費等の予算に不足が見込まれることから、これらの経費を追加しました。また、除雪事業において、昨年の豪雪により春期の融雪除雪経費が係り増したことや、近年の除雪実績等を勘案し、必要額を確保したほか、人件費及び燃料費等について、過不足額の組み替えを行いました。

この結果、補正額は一億千六百六十万円の追加となり、補正後の予算総額は、五十七億八千二百十万円となりました。

電子申請システム導入準備

山形県及び本町を含む県内

三十五市町村が、平成十九年四月の本稼働に向けて共同構築している「山形県電子申請システム」を導入するにあたり、条例等の規定に基づく申請、届出等の手続に関し、書面に加え、インターネット等オンラインにより行うことができるよう条例の設定を行いました。

小国町都市計画

マスタープランの策定

都市計画法の趣旨に基づき、市街地における都市づくりの将来像とその実現に向けた取り組みの方向性を示した、小国町都市計画マスタープランを策定しました。

山形県後期高齢者医療

広域連合の設立

平成二十年四月より、七十五歳以上の後期高齢者を対象に、独立した医療制度が創設されることに伴い、この事務を処理するため、県内三十五市町村で構成する「後期高齢者医療広域連合」の設立に向けて規約を設定しました。

投票区が一部変更になります。

投票所の円滑な運営と選挙執行経費の削減を図るため、投票区の見直しを行い、選挙管理委員会において下記のとおり決定されました。新しい投票区での選挙は、平成19年4月に執行予定の山形県議会議員選挙からとなります。ご理解とご協力をお願いいたします。

旧投票区の区域			新投票区の区域		
投票区	区 域	投票所	投票区	区 域	投票所
9	大字小渡、新屋敷、若山、増岡の一部、貝少、針生、古田、舟渡、網代瀬	沖庭小学校	9	大字小渡、新屋敷、若山、増岡の一部、貝少、針生、古田、舟渡、網代瀬、金目	沖庭小学校
10	大字金目	金目そばの館	14	大字玉川、片貝、足野水、玉川中里、中田山崎、小玉川の一部	玉川高齢者コミュニティセンター
15	大字玉川、片貝	玉川高齢者コミュニティセンター			
16	大字足野水	足野水きのこ園管理所			
19	大字玉川中里、中田山崎、小玉川の一部、片貝の一部	中田山崎部落公民館			
20	大字市野々、叶水、新股、大石沢	叶水保育園	17	大字市野々、叶水、新股、大石沢、河原角、西滝、東滝	叶水保育園
21	大字河原角、西滝、東滝	河原角わらび園管理所	18	大字白子沢、沼沢	白沼小中学校
22	大字白子沢	白子沢自治公民館			
23	大字沼沢	沼沢部落公民館			

*表中の投票所は予定です。(それぞれの選挙毎に決定されます。)

新年を迎えて

小国町長 小野 精一



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、人口減少社会に突入した日本は、少子高齢化の進展が厳しさを増しております。また、急速に変わる人口構成の影響は、経済成長、産業構造、教育普及など社会のいたるところに現れており、あらゆる面において転換が求められております。

こうした中で、昨年は横川ダムの建設促進や工業用水道、斎場の整備、小中高一貫教育

の研究開発など、当面する課題に対応した施策を展開してまいりました。

さて、迎えた新年は、行財政改革を一層推進しながら、引き続き「自立を可能とする地域づくり」を基本に、「地域資源を活用した産業づくり」「安全で安心できる暮らしの舞台づくり」「少子高齢社会に対応した暮らしづくり」「いきいきとした小国人づくり」を進めていくための各種施策を展開してまいります。

特に、本町の「森林セラピー基地」ぶなの森温身平」が本年四月にグランドオープンを迎えますので、本町の暮らしを支えてきた独特の生活文化を地域資源として活用し、地域とともに魅力ある森林セラピー基地づくりに努めてまいります。

町民の皆さまはじめ、関係各位には、まちづくりに対する更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のあいさついたします。

下叶水遺跡発掘調査が終了しました

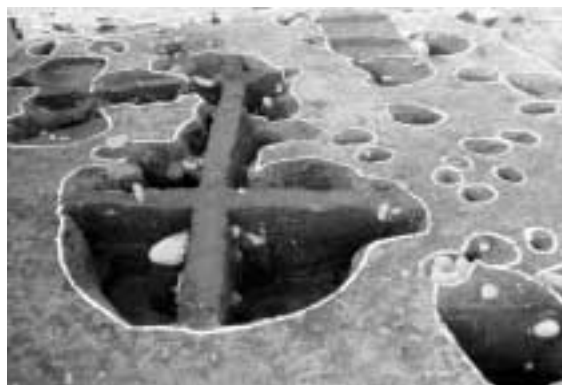
下叶水遺跡は、昭和五十三年度に県教育委員会により確認された遺跡ですが、このたび、横川ダム貯水池予定地にかかることから、緊急発掘調査が行われました。

調査の結果、調査区域の中央部に河川跡が見つかり、縄文土器、石器、土偶など多くの遺物が出土しました。また、河川跡の周囲には、縄文時代末期の集落跡や墓、建物跡なども見つかりました。柱があつた後などから、住居など

が建て替えられながら、約五百年間に渡り集落が営まれていたと考えられます。

＝ 調査要綱 ＝

遺跡名	下叶水遺跡
所在地	小国町大字叶水字下叶水
現地調査	平成18年5月8日～11月17日
調査面積	5,900平方メートル
調査種別	河川跡・集落跡
遺構	河川跡・土杭・ピット(柱穴など)
遺物	縄文土器・土偶・石器・石製品



現代の冷蔵庫のような役割を果たしていた貯蔵穴。炭化した縄文時代の栗がまとまって見つかった。



女性を形どった人形が多く、安産祈願や子宝を願うお守りのようなものとして作られたと考えられる。

催し

アルペンスキー教室

■日時 1月20日(土)～2月17日(土)の毎週土曜日、午前9時30分～11時30分 計5回開催

■場所 横根スキー場

■対象 小学生(予定人数低学年30名、高学年10名)

※小学1年生の参加は、保護者同伴となります。また、予定人数を超える申込みがあった場合は、抽選となります。

■講師 小国スキークラブ指導員及びスキー指導技術を有する方

■受講料 無料(保険料500円)

■申込期限 1月16日(火)午後5時

■申込・問合先 町民総合体育館へ

第2回大宮ふるさと塾

■日時 1月27日(土) 午後1時30分～

■場所 宮の森会館

■内容 講演会「産屋と大宮のむら組織」

元小国町文化財調査委員

仁科清實氏

■申込期限 1月24日(水)

■申込・問合先 大宮ふるさと塾実行委員長小関(☎62-2348)へ

横川ダムとまちづくり講演会

■日時 平成19年2月2日(金)

■場所 午後6時30分から
アスモ3階多目的ホール

相談

年金相談

■日時 1月24日(水)
受付 9:00～
相談 10:45～14:30

■場所 役場町民相談室

■問合先 町民課へ

人権相談

■日時 1月19日(金)
10:00～12:00

■場所 総合センター

■相談員 人権擁護委員

■問合先 町民課へ

なんでも労働相談ダイヤル

■期間 2月8日(木)～11日(日)

■時間 午前9時～午後7時
但し10日、11日は午後5時までとなります。

■相談料 無料

■対象者 パート、派遣、契約労働者など働くかたならどなたでも

■電話番号 0120-154-052

■問合先 連合山形(☎023-625-0555)へ

募集

町営等住宅の入居者募集

▼町営住宅小坂町団地

C-2-6 3DK 1戸

■対象 平成17年の世帯所得が月額20万円以下で住宅に困っているかた

▼勤労者住宅小坂町1号棟

A-201号室 2K

■対象 小国町に勤務されているかた

■募集期間

1月4日(木)～12日(金)

■入居時期 2月上旬

■講師 荒関岩雄氏(NPO法人水環境北海道専務理事)

■演題

「水辺からのまちづくり」(仮題)

■問合先 総務企画課へ

羽越水害40年巡回パネル展

■敷金 家賃3カ月分

■申込・問合先 地域整備課へ

甚大な被害をもたらした羽越水害から、平成19年8月28日で40年をむかえます。この歴史的な災害の教訓を次世代へ伝承し、近年多発する水害への備えについて考える機会として羽越水害40年巡回パネル展を開催します。つきましては皆さんが持ちの貴重な写真・資料・アイディアを募集します。

募集内容

・水害の写真・映像

・水害体験手記(400字詰め原稿用紙10枚以内)

・水害に備えるわが家の防災アイデア

■期限 1月31日(水)

■応募方法 住所、氏名、年齢、電話番号、職業、一言コメント、応募を知ったきっかけを記載し、郵便または宅急便でお送りください。

■その他 パネル展の日程等については「広報おぐに2月号」でお知らせします。

■問合・応募先 村山・置賜地区災害情報普及協議会事務局

〒990-9580

山形市成沢西4丁目3-55
(☎023-688-8421)
へ

米坂線に乗って写真を撮ろう

米坂線全線開通70周年を記念して「米坂線に乗って、米坂線を写そう！」フォトコンテストを実施しています。

■**応募方法** 小国町ホームページまたは役場ロビーなどに設置している応募用紙に必要事項を記入し、写真に添付したものを郵送または直接持参してください。

■**締め切り** 1月31日(水)

■**応募・問合せ**

〒959-3292

新潟県岩船郡関川村下関912
関川村役場内 米坂線整備促進
期成同盟会事務局 (☎0254
-64-1476) へ

統一地方選挙の提言募集

私たちのまちの将来を左右する選挙の重要性を呼びかける提言(メッセージ)を募集します。

■**文字数** 800字以内

■**締め切り** 1月31日(水)

■**応募方法** 住所、氏名、年齢、性別、職業(学校名、学年)、電

話番号を記載し、電子メールアドレスは郵送で送ってください。

■**その他** 入選作品は3月下旬に新聞に掲載、及び副賞として図書カードを贈呈します。

■**応募・問合せ**

〒990-8570

山形市松波2-8-1
山形県選挙管理委員会

senkani@pref.yamagata.jp

(☎023-630-2081)
へ

お知らせ

油の流出事故が発生しています

冬期間は暖房に灯油を使う機会が多くなるため、不注意などから河川に油を流してしまう事故が多くなっています。

油流出事故を防ぐために次の事に注意してください。

- ・ホームタンクから小分けにするときは、作業が完了するまで絶対にその場を離れないでください。
- ・落雪から給油管を保護したり、給油管の場所を常にわかるようにしておく、破損の防止に努めてください。
- ・ホームタンクや配管は傷んでい

ないか、灯油の減りが早くないかなど、定期的に点検を行ってください。

油の流出事故が起きた場合、または発見した場合は、早期に通報をお願いします。

指名競争入札参加申請を受付ます

小国町が行う建設工事、建設測量コンサルタント、物品納入などの指名競争入札の参加を希望されるかたは申請してください。

■**受付期間** 2月1日(木)～28日(水)

午前9時～12時・午後1時～4時

■**有効期間** 平成19年度～20年度(町内業者のかたは平成19年度)

■**その他** 必要書類などの詳細については、電話または町ホームページで確認してください。

■**問合せ** 地域整備課へ

公的年金等の

源泉徴収票を交付します

老齢年金等をうけているかたがた全員に「公的年金等の源泉徴収票」を1月末日までに送付します。(障害年金や遺族年金だけを受給しているかたは除きます)町県民税の申告に源泉徴収票を添付していただきますので、紛失しないよ

うに大切に保管してください。

■**問合せ** 町民課へ

高額療養費貸付制度

医療費の自己負担額が高額になったときには、高額療養費の払い戻しが受けられます。国民健康保険では自己負担分の支払いが困難な場合には、高額療養費支給見込額の8割を無利子で貸付する制度があります。

■**手続きに必要なもの**

医療機関からの請求書、国民健康保険被保険者証、印かん

■**問合せ** 町民課へ

1月10日は110番の日
110番地域を守るホットライン

●すばやい通報が犯人検挙につながります。事件や事故を見たり、聞いたりの場合は、すぐに110番をしてください。

●110番は緊急電話です。急を要しない相談や照会などについては、最寄の警察署または警察本部の総合相談電話を利用してください。

■**小国警察署** ☎62-0110
相談ダイヤル ☎023-642-9110へ

保健カレンダー

月日	乳幼児健診	受付時間	対 象	場 所
2/7	2 歳児歯科健康診査	13:00～13:15	16年6月～8月生まれ	健康管理センター *持ち物 母子健康手帳、問診票 (4カ月児、1歳児健康診査は除く)
2/23	4カ月児健康診査		18年10月生まれ	
	1歳児健康診査		18年2月生まれ	

■問合先 健康福祉課へ

国民健康保険からのお知らせ

出産育児一時金の受取代理制度

小国町国民健康保険では、被保険者が出産したとき、35万円の「出産育児一時金」を支給しています。これまでは、出生届の際などに役場窓口で申請をいただき、申請者に直接支給していました。

平成19年1月からはこれに加え、事前に申請することにより、小国町国民健康保険から出産した医療機関等に「出産育児一時金」を支払う「受取代理制度」を利用できるようになりました。これにより、35万円を超えた分のみを医療機関に納めることで済む仕組みになりました。

●受取代理制度を利用できるかた

次の要件を満たすかたです。

①小国町国民健康保険の被保険者

②出産予定日まで1ヶ月(妊娠36週以上のかた)以内であること

※他の健康保険から出産育児一時金が支給されるかたは除きます。

※国民健康保険税を滞納しているかたは、利用できない場合があります。

●受取代理の申請時期 出産予定日の1ヵ月前から

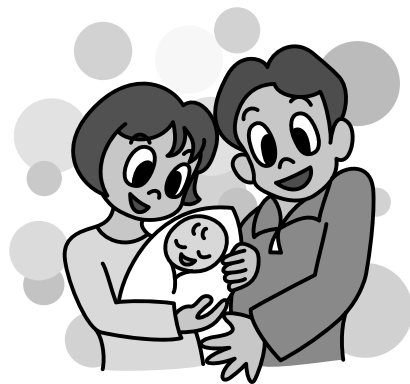
●受取代理の申請書 役場町民課にあります。

●持参するもの

国民健康保険証、母子健康手帳、印かん、口座番号のわかるもの(郵便局を除く。)

●留意事項

- ・受取代理制度を利用するには医療機関等の承諾が必要になります。
- ・出産費用が35万円に満たない場合は、出産費相当額を医療機関等に支払い、残りの額は被保険者(世帯主)に支払うことになります。



■問合先 町民課へ



小国町役場 ☎62-2111(代) FAX62-5464

行政管理室 ☎62-2112 政策企画室・地域振興室 ☎62-2264 住民窓口係・町民生活係 ☎62-2260

国保年金係 ☎62-2261 税政管理室 ☎62-2403 出納室 ☎62-2406 農村経営室 ☎62-2408

地域産業室 ☎62-2416 業務管理室・住宅環境室 ☎62-2431 建設工務担当 ☎62-2432 議会事務局 ☎62-2448

総合センター図書室から

開館時間 午前9時30分～午後6時

新刊図書

◇ありふれた魔法 盛田 隆二

◇レターズ・トゥ・ミー

アレックス・ロビラ

◇梅一夜 平野 洋子

◇現代語訳 般若心経 玄侑 宗久

◇藤沢周平 父の周辺 遠藤 展子

◇ちりめん細工季節のつるし飾り

井上 重義

◇はじめてのリースと花飾り 井越 和子

◇こちら北国、山の中 三上亜希子

◇大きな暮らしができる小さな家

永田 昌民

◇数え方と単位の本 全5巻 飯田 朝子

※ほか多数入荷しました。

今月の休館日

1月1日～1月3日(年始休み)

1月8日(祝日)・1月15・22・29日(月曜日)

子育て支援センターから

☆あそびの広場☆

■日程 1月9日、16日、23日

子育て講座「からこ作りに挑戦」、

30日、2月6日

■時間 午前10時～11時30分

■場所 健康管理センター

■対象者 0歳から入園前のお子

さんとお家のかた

☆なかよし広場☆

■日程と場所

1月18日、2月1日

総合センター

1月11日、25日、2月8日

おぐに保育園

■時間 午前10時～11時30分

■対象者 0歳から入園前のお子

さんとお家のかた

☆こども愛ランド☆

■日時 2月17日(土)

■場所 健康管理センター

■内容 バルーンアートと親子

でゲーム

■申込期限 2月15日(木)

■対象者 おおむね2歳からのお

子さんとお家のかた

■問合先 子育て支援センターへ

求人情報

左の表は12月12日現在の新規求人
の内容です。無効になっている場合
もありますのでご了承ください。この
ほかの求人情報は、ハローワーク長
井(☎84-8609)へ

町の雇用相談室を 利用してください

雇用相談員が、雇用や労働に
についての相談を受け付けていま
す。また、インターネットで、
町内から近隣市町村の求人情報
を検索できます。気軽に利用し
てください。

■雇用相談員による相談 (月・水・金)

※火・木は産業振興課職員が対
応いたします。(祝祭日を除く)

■相談時間 9:00～16:00

■場所

役場正面玄関ロビー脇

■問合先 産業振興課へ

事業所名	求人数	職種	年齢	就業時間
(株) アーネスト	10人	建設作業員	18～55	8:00～17:00
(株) 太陽警備保障	5人	警備員	不問	8:00～17:00ほか
アクサ生命保険(株)長井営業所	3人	営業	20～59	9:15～17:00
小国町立病院	7人	介護員・看護師・調理員	不問	8:30～17:15ほか
大河内産業(有)	7人	一般事務員・プラント運転手・運転手	不問	8:00～17:00
アベプランニング	2人	サービス・役務係	不問	8:00～17:00
(株) 船山工務店	2人	土木施工管理技士	不問	8:00～17:00
(株) 斉藤建設	1人	土木施工管理技士	不問	8:00～17:00
(有) 加藤印刷	1人	グラフィックデザイナー	～35	8:30～17:00
(株) 井上製作所	7人	マシンオペレーター	18～45	8:30～16:45ほか
朝日生命保険相互会社長井営業所	5人	生命保険営業	25～55	9:10～16:50
(有) コンスカンパニー第一ホール小国店	2人	ホールスタッフ	18～40	8:00～17:30ほか
第一生命保険相互会社坂町支部	5人	保険コンサル	25～55	9:00～17:00
おぐに白い森(株)	8人	乗客・出札係	不問	8:00～16:30ほか
電興(株)	1人	薬剤師	不問	8:50～17:30
舟山鉄筋	1人	鉄筋加工	不問	8:00～17:00
ハイコー(株)	2人	電気工事	18～40	8:00～17:00
K-PRODUCTS	1人	販売・修理	不問	8:00～17:30
(有) 村上警備保障	2人	交通誘導員	不問	8:00～17:00
(株) コメリ新潟地区本部	20人	販売員	18～35	9:00～18:00ほか
山和建設(株)	1人	スタンド従業員	18～40	7:00～17:00
(株) 横川建設	9人	土木施工管理技士・重機オペレーター・ 営業・土木作業員・4tユニック運転手	不問	8:00～17:00
(有) ティーズファクトリー	2人	プログラマー	30～50	9:00～18:00
(株) スタッフサービス	2人	生産技術	不問	8:30～17:00
(株) シーテック山形営業所	2人	機械設計	不問	9:00～18:00
(株) 技能育成センター郡山営業所	8人	半導体装置MC	不問	8:30～16:40ほか
酒味庵まつばら	1人	接客	不問	17:00～21:00ほか
(株) 小国タクシー	2人	代行運転手	不問	20:00～0:30
社会福祉法人 小国町社会福祉協議会	4人	ホームヘルパー	20～50	8:30～17:15ほか
(有) 白い森よこね物産品直売所	3人	販売員	不問	9:00～18:00ほか
特別養護老人ホームさいわい荘	3人	介護員	不問	9:15～18:15ほか

輝けおぐにっ子

今月は、生まれてくる赤ちゃんの両親になるための準備をする「両親学級」の参加者を紹介します。



シリーズ
9

見川明さんと久美子さん夫妻（岩井沢）

「両親学級は全部で3回行われますが、私たちは初めての出産のため、ここで教わることはどれも今まで知らなかったことばかりで、とても勉強になります。本を買っているのと同じことを教えてもらったり、人形を使っての育児体験などがあり、出産に対する実感が一層沸いています。

今回はオムツの交換方法を勉強しましたが、人形でも緊張してしまいました。お風呂を入れる時、温度はどれくらいがいいのか、どんな石けんを使ってよいのかなど全く分からないので、この教室でしっかり勉強したいと思っています。

今、2人の話題の中心は、生まれてくる赤ちゃんのことがほとんどです。出産がとても待ち遠しいです。」

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

西	伊	藤	頌太	(豪雅恵)
幸	町	小	林	嘉暢
兵	庫	館	渡	部
緑	町	青	木	昊埜
小	国	町	小	畑
岩	井	沢	佐	藤
小	国	町	五十嵐	琉星

結婚おめでとうございます。

(緑	町	雨	田	祐二
(飯	豊	町	安	部
(小	国	小坂	町	東
(栄	町	齋	藤	由紀子

おくやみ申し上げます。

増	岡	米	野	新	弥	(85)
大	石	沢	高	橋	のぶ	(92)
大	石	沢	川	崎	省	(78)
小	国	町	渡	部	武	(77)
小	松	岡	渡	部	力	(85)
古	井	田	安	部	雅	(74)
岩	井	沢	丹	三	郎	(70)
幸	町	渡	部	喜	嗣	(75)
小	国	小坂	本	多	由	(78)
新	屋	敷	和	田	善	(59)
岩	井	沢	高	橋	ウ	(95)
岩	井	沢	坂	上	シカ	(82)
岩	井	沢	色	摩	吉	(79)

人口のうごき

人	口	男	...	4,700人(-6)
		女	...	4,981人(-2)
		計	...	9,681人(-8)
世帯数				3,289世帯(+6)
				平成18年11月30日

編集後記

今年も亥年です。十一年前の亥年を振り返ると、阪神・淡路大震災や地下鉄サリン事件など、大きな出来事や社会に不安が広がった年でもありました。

さて、干支は古来中国から伝わってきたものですが、イノシシを調べてみると、中国では福をもたらす大切な動物であるとして、亥年に出産をしようと計画をする人が多いそうです。ここ小国でも、元氣な赤ちゃんがたくさん生まれ、「広報おぐに戸籍の窓」が、赤ちゃんの名前でいっぱいになればと願っています。(舟山)